

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

GRAND SLAM 名東 愛知県名古屋市名東区高針原 2-1513
Tel. 052-703-5141



2007年7月21日

遂にこの日がやってきた朝からなんとなく落ち着かない。11時の約束に間に合うように9時40分ごろ妻を連れて家を出る。小雨の降る中、時間どおり GRAND SLAM 名東に到着する。10分ほど遅れて NEEZ の井野さんが到着。先に届いていたホイールの梱包を解くと、イメージ通りの SEK がそこにあった。しばらくしてリフトアップされた RA-R の前輪に、待ちかねたように井野



さんが SEK を仮装着すると、あたりまえだがぴったりだった。キャリパーとのクリアランスも充分な余裕がある。井野さんは「とにかくまず合うかどうか実際に装着してみないと安心できないよ」とおっしゃっていたので、これでとりあえず一安心。さっそく持参してきた RIGID のホイールナットを手渡すと、お店のスタッフはホイールの入れ替え作業に取りかかった。梱包されてきた中には軽合金の黒のホイールナットが付属していたが、せっかく持参してきたので RIGID 製のものを使用することにした。しかしさすがは天下の鍛冶舎である。ホイールナットひとつでも妥協していない。エアバルブも軽合金製のものだ。そして、センターキャップは注文時に NEEZ の旧ロゴのものをお願いしていたのだが、在庫の有無は確認しなかったが、なんと旧ロゴで特別に制作してくれていた。さらにうれしいことには、それはプレゼントだそうだ。レンズの出来映えも素晴らしいし、この細やかな心遣いには感謝します！



SEK

手に持った瞬間！あまりの軽さに驚く。それがこのマグネシウム鍛造ホイールの真価。



付属のホイールナット

どれも、合うかなー
わたしが井野で一す



センターキャップはこの渋いデザインのパッケージに入っていた

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R

いよいよホイールの換装がはじまる。



まずはエアバルブの取り付けから



次にホイールをタイヤチェンジャーにセットし、タイヤビートの滑りを良くするために、ハケでグリスをホイール円周部に塗っていく。



外された ENKEI 製純正ホイール



タイヤの装着を待つ SEK ホイール



一つずつ丁寧に、しっかりと取り付け



さすがにムダがない、年期の入った正確な職人の動作だ。

後はエアを入れて完了



タイヤが装着されたホイール

GRAND SLAM 名東の作業室



この方が GRAND SLAM 名東の店長、中西さんです。今日は本当にお世話になります。よろしくお願いします。

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R



SEK

スッピン(SEK)のタイヤも装着されて、次は...



規定量のエアも充填されて、あとはホイールバランスのチェックを待つばかり。



ホイール balancer にセットされた状態。中西さんは、バランスが極めていいホイールだと褒めていた。

真円性の高いホイールであることは、バランス取りの作業ひとつみても、その精度の高さがわかる。

ホイールのバランスも取りも終わって、あとは車に装着するだけ。ここまでの作業は実に丁寧でスムーズ。さすがは竹島さんが紹介してくれたショップだけのことはあると思った。



軽合金製エアバルブ



バランスウエイト貼りも一回できまり!

美しい造形を見せるホイールセンター部



56mm 中のハブリングを兼ねた 3mm 厚の軽合金製のスペーサーは、ホイールとハブの接触面が、直接触れ合わないようになっているので、腐食するのを防止している。

SUBARU Impreza WRX STI spec C type RA-R



NEEZ

SEK

このセンターキャップの
なんという美しい仕上がり
私の SEK だけに制作された、こだわりの逸品
である。当に世界でひとつしかない、ワンオフ
の一生ものである。NEEZ の旧ロゴがクール！



そして、とうとう私の愛車 RA-R の足になった。フロントの6ポッドブレーキキャリパーが際立って見える。マットブラックのホイールカラーは、アストラルイエローのボディによく似合って、車体全体を引き締めて見せている。ホイールのデザインは、強靱で精悍な力強いイメージだ。それでいて武骨で粗野な感じは全くなく、むしろ洗練されたエスプリが漂う。





NEEZ

SEK

2007.7.21

本日は記念日
愛車 RA-R
の足に究極の
マグネシウム
鍛造製ワンピ
ースホイール
が装備された
記念すべき日
これほど早
く実現する日

が来るとは夢にも思わなかった。何しろF1のホイールと同じものを、私の車が覆っているのだ。
しかし、破格の金額を支払ってまで、手に入れる価値があるかと問われれば、それは単に自己の
満足を満たすだけのものにすぎないと人は言うだろう。ところが、私はそうは思わない。何故なら
ば、私の愛車 RA-R は、ある意味究極のマシンだからだ。Impreza という車は、市販車としては、
極めて走りに特化した車である。その中でもこの STI spec C type RA-R という車は、Impreza の
進化の頂点に立つ存在だ。そんな究極の車にこそ、このホイールは相応しいと私は思うのだ。



GRAND SLAM 名東にて



大和石油にて